

室蘭工業大学-学報

NO.669



「ムロぴょんデザインコンテスト2024 ～君の考えたイラストがグッズに！～」の受賞作品が決定
(7ページに関連記事あり)

2025年 7月号

目次

◇ トピックス ◇

室蘭工業大学、国内大学に先駆けて Microsoft 365 Copilot を全学事務部門に導入 ……	1
「室蘭工業大学学生広報スタッフ“むろこーほー”任命式」を行う ……	3
進め、理系女子！道内国立3大学トークセッション型説明会 – 室蘭工大×北大工学部 ×北見工大がリケジョの本音を語ります – を開催 ……	4
日本マイクロソフト株式会社共催「室蘭工業大学×Meet My Copilot」を開催 ……	6
「ムロぴょんデザインコンテスト2024 ～君の考えたイラストがグッズに！～」の受賞 作品が決定 ……	7
Giving Campaign説明会を開催 ……	9
チャン・ヨン Chol 教授が「2025年 Springer Nature 編集貢献賞」を受賞 ……	10
名誉教授称号授与式を挙行 ……	11
名誉教授との懇談会を開催 ……	12
札幌市立屯田北中学校の2年生が本学を訪問 ……	14
室蘭工業大学コンピュータ科学センターがロゴマークを制定 ……	15
太田香教授が審査員を務める国際アワード「Innovators Under 35 Japan 2025」の募集 が開始 ……	16
室蘭工業大学が連携機関として参画する「デトネーションエンジン・宇宙推進工学革新 研究拠点形成」（代表：名古屋大学）が宇宙戦略基金事業SX研究開発拠点に採択 ……	17
「ムロぴょんデザインコンテスト2024 ～君の考えたイラストがグッズに！～」の表彰式 を行う ……	18
瓦井智貴助教が北海道開発技術研究発表会において北海道開発協会長賞を受賞 ……	19
庭山聡美教授がInternational Association of Advanced Materials (IAAM) Scientist Medal を受賞 ……	20
有村幹治教授が「2025年 Springer Nature 編集貢献賞」を受賞 ……	21
日本学生支援機構海外留学支援制度（協定受入）奨学金プログラム 台湾国立屏東大学 「Unity Bridge: 課題解決型学習を通じた日台協働によるグローバル情報人材育成プロ グラム」及び「台湾人学生が考えるウレシパーアイヌ文化研究」の実施 ……	22

◇ 情報・資料 ◇

MONOづくりみらい共創機構「プレ共同研究」（3回目）の採択 ……	23
国立大学法人室蘭工業大学の役職員の報酬・給与等について ……	24

◇ 外部資金 ◇

民間等との共同研究の受入れ ……	37
受託研究等の受入れ ……	38
奨学寄附金の受入れ ……	39

◇ 人 事 ◇	
人事異動.....	40
◇ 学内会議 ◇	
学内各種委員会等の開催.....	41
◇ 日 誌 ◇	
学内行事・学外行事.....	42
◇ 人物図鑑 ◇	
室蘭工業大学人物図鑑 part.27～28	43

トピックス

室蘭工業大学、国内大学に先駆けて Microsoft 365 Copilot を全学事務部門に導入

国立大学法人室蘭工業大学（以下、室蘭工業大学）は、このたび「Microsoft 365 Copilot※」を国内の大学に先駆けて全学事務部門に導入したことを発表いたします。

今回の導入を契機に、業務の効率化・高度化にとどまらず、AIを正しく理解し、使いこなしていくニューノーマル時代にふさわしい働き方の確立を目指していきます。

《Microsoft 365 Copilotとは》

「Microsoft 365 Copilot」は、Microsoft Corporationが提供するツールで、WordやExcel、PowerPoint、Teamsなど日常的に業務等で使用するMicrosoft 365アプリに生成AIが組み込まれたものです。

本ツールは、Webブラウザやアプリ上での生成AIとのチャット形式でのやり取りに加えて、WordやExcel、PowerPoint、OutlookなどのMicrosoftアプリケーションと連携して、文書の作成、データの分析、プレゼンテーションのデザイン・作成、メールの作成などの様々な作業を効率的に行うことができます。さらに、ユーザーデータや組織内データを保護しており、AIモデルの学習にも利用されることはなく、組織内データの流出を防ぐ等、高いセキュリティ環境下で利用可能となっています。

《導入の背景》

室蘭工業大学では、来たる未来社会Society5.0を見据えて、令和4年7月に「デジタル・キャンパス推進基本方針」を策定するとともに、デジタル・キャンパス推進室を設置して、データ駆動型キャンパス「デジタル・キャンパス」の実現に向けて、全学を挙げてデジタルトランスフォーメーション（以下DX）に取り組んでおります。

事務部門においても、場所を選ばない多様で柔軟な働き方の実現、デジタルファーストのサービス設計による既存業務プロセス変革（BPR）を目指して、RPAの積極活用、コンテンツ管理基盤「Box」の全学導入、オフィスレイアウトにABW（Activity Based Working）を取り入れるなど、従前にとらわれない様々な変革を進めてきております。

今回の「Microsoft 365 Copilot」の全学事務部門への

導入もその施策の一環となります。

《今後の展望》

昨今の社会の急速な進化にともない、大学及び大学事務部門に求められる機能も急速に複雑化、高度化しています。

このような状況のなか、近年、多彩なAIソリューションが登場し、生成AIについても急速に進化、普及が進んできております。生成AIの活用は、懸念やリスクもありますが、働き方の革新を実現する可能性を大いに秘めています。

このたびの「Microsoft 365 Copilot」の導入により、各種業務における生産性の向上を図っていくのはもちろんのこと、単科大学である本学において、これまでリソースを割くことができていなかった業務の高度化（企画立案、情報収集・分析に係る業務の質を向上させるなど）、機能強化も進めていきます。

さらに、職員が安全に、安心して生成AIを活用することができる環境を整えることで、AIを正しく理解し、使いこなしていく、ニューノーマル時代にふさわしい働き方の確立を目指していきます。

なお、本導入に併せて、DX推進アンバサダー制度（仮称）を新たに創設、学内の職員をアンバサダーに任命して、Microsoft 365 Copilot利活用の推進を始めとした学内のDX推進にあたる予定です。

日本マイクロソフト株式会社

コーポレートソリューション事業本部モダンワーク&セキュリティ統括本部

業務執行役員 統括本部長 田村紀恵 様コメント

この度の国立大学法人室蘭工業大学様における全学事務部門向けの「Microsoft 365 Copilot」のご採用を心よりお慶び申し上げます。国立大学法人室蘭工業大学様は、早くから生成AIに高い関心を持たれ、強力な「展開力」により、実証実験を通して既に「幅広く」Microsoft 365 Copilotをご活用いただいております。今後は全国の大学に先駆けて、全学事務部門を対象に、より強固な業務改善の維持体制を築き、多数の効果的な事例を作成いただけると強く確信しております。

トピックス

※Microsoft、Microsoft 365、Excel、PowerPoint、Microsoft Teams、Outlookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※Microsoft 365は、Microsoft Corporationが提供するサービスの名称です。

《参考》

- ・ デジタル・キャンパス推進基本方針

<https://muroran-it.ac.jp/guidance/compliance/digitalcampus/>

- ・ 生成系AI業務実証プロジェクトを始動

<https://muroran-it.ac.jp/guidance/info/post-54519/>

《Microsoft 365 Copilotに関する問い合わせ》

国立大学法人室蘭工業大学経営企画課経営企画係

TEL：0143-46-5047

E-mail：kikaku@muroran-it.ac.jp

「室蘭工業大学学生広報スタッフ “むろこーほー” 任命式」 を行う

令和7年5月26日(月)に室蘭工業大学学生広報スタッフ “むろこーほー” 任命式を行いました。

学生広報スタッフ “むろこーほー” は室蘭工業大学の魅力を学生目線で発信し、学生の生の声を届けるために令和4年度から導入されました。この度むろこーほー第一期生として1名の学生が任命されました。

任命式では学長から新メンバーへ認定証とムロぴよんのぬいぐるみが贈られました。続いて松田学長、現メン

バーの江藤さんをお交えて懇談をおこないました。松田学長からは「18歳人口の減少にともない、大学において広報の重要性は上がってきている。学生の目線から本学の広報活動を盛り上げてほしい。」と激励の言葉がありました。

新メンバーの牛島さんは「道内外の人へもっと室蘭工業大学の良さを伝えたい」と意気込みました。



認定証授与の様子



懇談の様子



記念撮影の様子 (右：新メンバー牛島さん)

進め、理系女子！道内国立3大学トークセッション型説明会 －室蘭工大×北大工学部×北見工大がリケジヨの本音を語ります－を開催

令和7年5月11日(日)に室蘭工業大学、北海道大学工学部、北見工業大学の道内国立3大学が札幌駅前通広場チカホ 北大通交差点広場(西)において、「進め、理系女子！道内国立3大学トークセッション型説明会－室蘭工大×北大工学部×北見工大がリケジヨの本音を語ります－」を開催しました。

日本において工学系大学に進学をする女性の割合は16%程度となっており、経営協力開発機構(OECD)加盟国38か国中で最低となっております。この現状は、物理などの分野で女性が活躍する姿(イメージ)が薄いことなどにより、数学や物理に男性的なイメージがついてしまい、理系の女性が少ない原因となっているのではないかと考えられます。これらを打開するため

には、女子生徒、保護者や中学・高校教員などに理系大学に進む女子学生の生活や就職などの現状を知っていただくことが重要と考え、初めて道内3大学がタッグを組んで開催し、当日は約100名の関係者に参加いただきました。

本説明会では、各大学の女性教員、現役女子学生、卒業生が工学の魅力語り、札幌市内の女子生徒からは「理系女性の生の声を聞くことが出来て大変参考になった。自分の進路に向かって頑張っていきたい」と述べておりました。各大学の進学相談会も実施され、各大学のブースを訪れた女子生徒やその保護者に対し、大学パンフレットやスライドを用い、個別に大学の魅力を伝えておりました。



女性研究者のライフとワーク(室工大・矢島先生)



リケジヨ対談(キャンパスライフの本音)



OG対談(仕事とキャリアの本音)



室工大概要説明(室工大・城野先生)



室工大ブースでの進学相談会



総合司会の室工大・清末先生

進め、理系女子!

道内国立3大学 トークセッション型 説明会

参加無料

室蘭工大×北工学部×北見工大がリケジョの青春を語ります!

理系女子大生の日常は?なぜリケジョを目指したの?どこに就職できるの?などの疑問に現役女子学生・卒業生(OG)・女性教員が本音で語ります。各大学のブースでは、気軽に進学相談ができるスペースを設け、現役女子学生がキャンパスライフについてお話しします!進路で活躍したい方はもちろん、進路について悩んでいた方、少しでも理系に興味がある方は、是非ご参加ください。

2025 5.11 SUN. 11:00-16:00

場所:チカホ 札幌駅前通地下広場 北大通交差点広場(西)

主催:室蘭工業大学 北海道工学部 北見工業大学 共催:北海道鉄鋼、八大学工学系連合会

お問い合わせ 室蘭工業大学総務課 TEL 0143-46-5008 koho@muroran-it.ac.jp

《女性研究者のライフとワーク 講師プロフィール》

矢島 由佳

室蘭工業大学
工学部工学研究科 化学系系領域
化学工学ユニット 准教授
2014年 北海道大学大学院工学研究科 工学修士(工学)、北海道総合科学技術大学院大学 工学修士(工学)、2016年 室蘭工業大学大学院工学研究科 工学修士(工学)、2018年 室蘭工業大学大学院工学研究科 工学修士(工学)、2020年 室蘭工業大学大学院工学研究科 工学修士(工学)、2022年 室蘭工業大学大学院工学研究科 工学修士(工学)

滝村 奈央

北海道大学工学部
工学部工学研究科 機械・宇宙航空工学部門
機械材料システム中野 教授
2014年 北海道大学大学院工学研究科 工学修士(工学)、2016年 北海道大学大学院工学研究科 工学修士(工学)、2018年 北海道大学大学院工学研究科 工学修士(工学)、2020年 北海道大学大学院工学研究科 工学修士(工学)、2022年 北海道大学大学院工学研究科 工学修士(工学)

片岡 少穂

北見工業大学
機械マテリアル工学コース 助教
2009年 北見工業大学大学院工学研究科 工学修士(工学)、2011年 北見工業大学大学院工学研究科 工学修士(工学)、2013年 北見工業大学大学院工学研究科 工学修士(工学)、2015年 北見工業大学大学院工学研究科 工学修士(工学)、2017年 北見工業大学大学院工学研究科 工学修士(工学)

Event Schedule	イベントスケジュール(予定)
11:05-11:10 ▶ 開会挨拶(室蘭工業大学准理事・副学長)	13:50-14:10 ▶ 女性研究者のライフとワーク(北見工業大学)
11:10-11:30 ▶ 女性研究者のライフとワーク(北海道大学)	14:10-14:20 ▶ 室蘭工業大学の紹介
11:30-12:30 ▶ 企業で活躍するリケジョが語る、仕事とキャリアの本音	14:20-14:30 ▶ 北見工業大学の紹介
12:30-12:50 ▶ 女性研究者のライフとワーク(室蘭工業大学)	14:30-14:40 ▶ 北海道大学の紹介
12:50-13:50 ▶ リケジョが語る、キャンパスライフの本音	14:40-14:50 ▶ 閉会挨拶(室蘭工業大学川村副学長)

企業で活躍するリケジョが語る、仕事とキャリアの本音

OG講師 11:30-12:30

- 室蘭: 北見工業大学内務課
- 室蘭工大: 本山 ござえ (室蘭市都市建設土木課管理係 係長)
- 北 大: 大塚 尚希 (北見建設株式会社 人事総務課 総務グループ)
- 北見工大: 菊池 優希 (株式会社室蘭工コンパニリング 総務課)

リケジョが語る、キャンパスライフの本音

女子学生講師 13:50-13:50

- 室蘭: 北海道大学本学術主任専門職
- 室蘭工大: 藤田 秀枝 (工学部工学研究科 機械工学専攻 先端機械工学コース 2名)
- 北 大: 佐藤 衣帆 (工学部工学研究科 材料科学専攻 先端材料工学専攻 2名)
- 北見工大: 宇井 優希 (工学部工学研究科 機械工学専攻 2名)

室蘭工業大学

MURORAN INSTITUTE OF TECHNOLOGY

北海道大学工学部

HOKKAIDO UNIVERSITY OF ENGINEERING

北見工業大学

Kitami Institute of Technology

日本マイクロソフト株式会社共催 「室蘭工業大学×Meet My Copilot」を開催

令和7年5月15日(木)に日本マイクロソフト株式会社の方をお招きし、「室蘭工業大学×Meet My Copilot」と題したCopilot活用セミナーを開催しました。

本セミナーは、5月から事務局の職員を対象に「Microsoft 365 Copilot」ライセンスの配付を開始したことを受けて、Copilotの基本的な操作方法や活用方法を学ぶことを目的としています。

午前10時から12時まで行われたセミナーは2部構成で実施され、第1部では日本マイクロソフト株式会社の今野氏から生成AIの基礎知識や効果的なプロンプトの作成方法についてご講演いただきました。第2部では、実際に「Microsoft 365 Copilot」を操作するハンズオン形式のセッションが行われ、参加者は実践的なスキルを習

得しました。

会場は本部棟3階の大会議室で、オンライン参加を含めて本学職員が46名、他大学のオンライン参加者を含めると約130名が参加する活発な学びの場となりました。

午後には、学長を含めた役員を対象とした説明会が開催され、教育・業務・研究におけるCopilotの多様なユースケースや課題について、今野氏との意見交換が行われました。

さらに、学生向けのワークショップも実施され、2グループに分かれて生成AIの活用方法について議論を深めるなど、非常に充実した一日となりました。今後も本学では、デジタルサービスの活用を通じて業務の効率化と改善を図る取り組みを継続してまいります。



日本マイクロソフト株式会社
今野氏からの説明（第1部）



熱心に説明を聞く参加者（第2部）



日本マイクロソフト株式会社
今野氏から本学役員への説明



学生向けワークショップの様子

「ムロびょんデザインコンテスト2024 ～君の考えたイラストがグッズに！～」の受賞作品が決定

令和6年12月20日～令和7年3月31日の期間に募集をしておりました、「ムロびょんデザインコンテスト2024 ～君の考えたイラストがグッズに！～」の受賞作品が決定いたしましたので公表いたします。

【受賞作品】

～学長賞～



作品名「ロゴムロびょん」

～広報室長賞～



作品名「ドローンムロびょん」

～優秀賞～



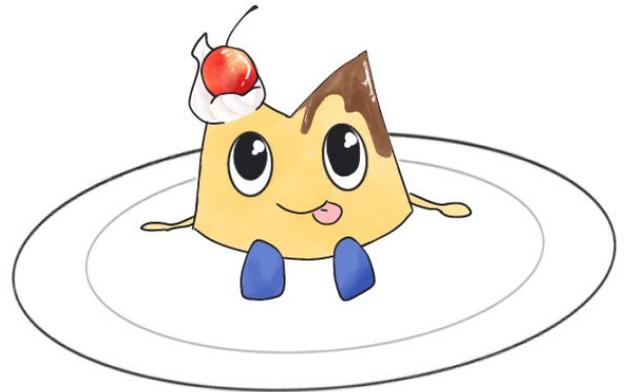
作品名「お料理ムロびょん」

～ユーモアデザイン賞～



作品名「焼き鳥ムロぴょん」

～インパクトデザイン賞～



作品名「プリンムロぴょん」

応募総数 38点

Giving Campaign説明会を開催

令和7年5月19日(月)18時から本学N棟305講義室にて「Giving Campaign説明会」を実施しました。

Giving Campaignは企業や個人から寄付金を集めることを目的とした、学生が参加するサークル等の活動資金調達を行うことができるイベントです。

説明会では本イベントの管理団体である株式会社almnote（アルムノート）の山中様から過去の実績、参加登録方法や参加するメリットについて説明があり、学

生たちは真剣に話を聞いていました。

本学は今年初めての参加となりますが、初日から多くのサークルの登録があり、10月のイベントに向けて準備を開始することになりました。

Giving Campaignは単なる寄付活動ではなく、社会の一部として持続可能な未来を築くための重要なステップだと認識し、多くの学生がこの活動に参加し、支援の輪が広がることを期待しています。



説明会の様子

日本最大級
学生による資金調達イベント

GIVING CAMPAIGN

2025年度 開催決定!!

開催日程 2025.10.10(金)~19(日)

2024年度の実績

- 参加大学: 全国100校
- 参加者数: 47万人
- 学生への寄付額: 10日間で1億円

Giving Campaignって
どんなイベント?

参加するにあたり、学生団体は
下記2つの方法で「活動資金調達」を
行うことができます!

01 企業からの寄付金
02 個人からの寄付金

Giving Campaign 2025
申し込みのご案内

まずは会員登録!
入会費0円

申し込み期間
5月31日(金) 7月31日(金)

募集情報登録: 8月~9月頃が予定

出場登録全大学共通チラシ

チャン・ヨン Chol 教授が 「2025年 Springer Nature 編集貢献賞」を受賞

しくみ解明系領域のチャン・ヨン Chol 教授が、Springer Nature社の学術誌『Applied Biochemistry and Biotechnology』における長年の専門的かつ献身的な編集活動により「2025年 Springer Nature 編集貢献賞 (Springer Nature Editor of Distinction Awards)」を受賞しました。

この賞は、学術誌に掲載される研究の科学的正確性を維持し、高い学術的信頼性と倫理的整合性を守るために尽力する編集者・編集委員の功績を称えるものです。中でも、チャン教授は新規投稿論文の査読評価や、査読プロセスの厳格な管理においてもその卓越した判断力と責任感が高く評価されました。

Springer Nature 編集貢献賞は2022年に創設され、「編集リーダーシップ賞」「編集貢献賞」「著者支援賞」の3部門で構成されており、受賞は編集活動における国際

的な信頼と貢献が認められた証です。現在、Springer Natureには世界中で約3,000誌、10万人以上の編集委員が在籍しており、本賞の受賞はまさにその中でも際立った貢献者に与えられる荣誉です。

【受賞者のコメント】

このたびのSpringer Nature編集貢献賞の受賞は、誠に光栄なことであり、たいへん驚くとともに、心より嬉しく思っております。

本編集業務は、2021年にAssistant Editorに着任して以来携わってまいりました。これまでにおよそ1,500名の専門家の方々に査読を依頼し、そのご意見を精査のうえ、論文採択の判断を行ってまいりました。

本学の教員をはじめ、査読にご協力くださった世界中の関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。



編集貢献賞を受賞されたチャン教授



表彰状

名誉教授称号授与式を挙行

令和7年3月31日限りで退職された清水一道氏、上羽正純氏、佐伯功氏、佐賀聡人氏、竹ヶ原裕元氏に対して、令和7年4月1日付けで、室蘭工業大学名誉教授の称号が授与されました。

称号授与式は令和7年5月29日(木)11時00分から本部棟3階中会議室において行われ、出席された清水一道氏、竹ヶ原裕元氏に称号の授与がなされた後、学長から本学の発展へのご尽力に感謝の言葉が述べられました。



松田学長を囲んで記念撮影

名誉教授との懇談会を開催

令和7年5月29日(木)に、本部棟大会議室において、名誉教授との懇談会を開催しました。

この懇談会は、開学記念行事の一環として名誉教授の先生方を招き、本学の運営に関し、意見や要望等を伺い、今後の大学運営に反映させることにより、大学運営の一層の充実、発展を期すために開催しているものです。

当日は、松田学長の挨拶からはじまり、続いて佐藤理事から本学の現況説明が行われた後、本学元学長の松岡健一先生から令和7年度入学者選抜（令和6年度実施）の「女子枠」に関する質問があったほか、野村滋先生か

ら大学院工学研究科博士後期課程学生の留学生比率に関する質問があるなど、活発に意見交換が行われました。

会の途中には、村山茂幸先生及び土屋勉先生からご自身の近況として、現在の興味関心ごとなどについてお話をいただきました。

今年度の出席名誉教授は次のとおりです。

松岡 健一	野村 滋	宮尾 正大
杉岡 正敏	臺丸谷政志	村山 茂幸
土屋 勉	相津 佳永	溝口 光男
河合 秀樹	清水 一道	竹ヶ原裕元



松田学長の挨拶



乾杯の挨拶をする溝口名誉教授



近況報告する村山名誉教授



近況報告する土屋名誉教授



挨拶する松岡名誉教授



懇談会の様子

札幌市立屯田北中学校の2年生が本学を訪問

札幌市立屯田北中学校の生徒60名が、本学を訪れました。

一行は3グループに分かれ、航空宇宙機システム研究センターによる模擬講義とジェットエンジンの点火実験、ドローン飛行実験や、希土類材料研究センターによる体験学習、ロボットアリーナによる体験学習をそれぞれ行

いました。普段の学校生活の中ではさわることのない実験道具などを興味深そうに操作していました。

実施日：令和7年5月28日(水)10時30分～12時00分

場所：教育・研究1号館C棟他

参加者：2年生の生徒60名、引率3名



航空宇宙機システム研究センターによる
ジェットエンジン燃焼実験を見学



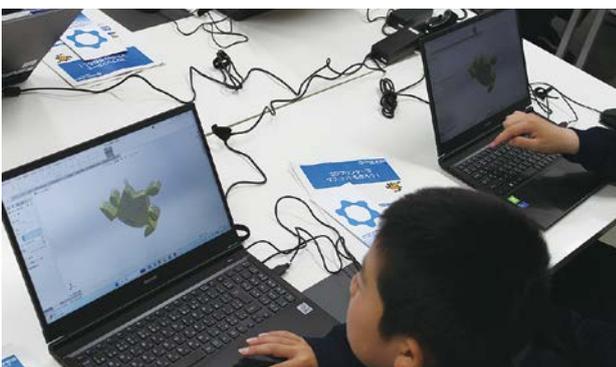
希土類材料研究センターによる体験学習①



希土類材料研究センターによる体験学習②



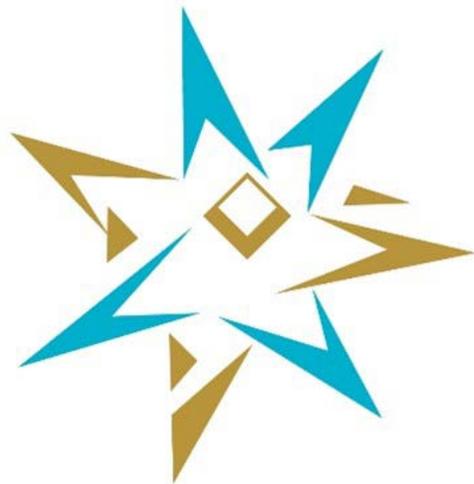
希土類材料研究センターによる体験学習③



ロボットアリーナによる体験学習

室蘭工業大学コンピュータ科学センターが ロゴマークを制定

室蘭工業大学コンピュータ科学センター（センター長：太田 香 教授）は、令和7年4月1日にロゴマークを制定しました。ロゴマークのデザインコンセプトは「室蘭から世界へ、輝きを放つ知の拠点」。本センターは、情報技術の進化に伴い、学生と教員が知識を磨き、新たな技術革新を生み出す場として発展してきました。今回のロゴには、未来志向の象徴としての七光星のモチーフを取り入れ、センターが力強く成長し続ける意志を込めています。



Muroran Institute of Technology
CCS
コンピュータ科学センター

本ロゴマークは、北海道の道章である「七光星」をイメージし、コンピュータ科学センターが輝く未来へ向かって飛躍する姿を象徴しています。七つの鋭角は、最先“端”の研究開発につながるネットワークを構築しつつ、次世代のトップ研究者を育成し、その流れを流動的に作り出すための仕組みを表現しています。

また、金色の要素は、センターが未来を照らす光として存在することを示し、知識と技術の積み重ねによって世界に貢献するという理念を映し出しています。さらに、「ムロラン」の文字をロゴに組み込むことで、室蘭の地から世界へ技術と知識を発信していく決意を込めました。

メインカラーには、北海道の厳しい寒さをイメージした淡い青色を採用し、金色のアクセントによって知の輝きを際立たせています。

本センターは、これからも情報技術の研究と教育を通じて社会に貢献し、次世代の技術者を育成する使命を果たしてまいります。

太田香教授が審査員を務める国際アワード 「Innovators Under 35 Japan 2025」の募集が開始

令和7年6月2日、MITテクノロジーレビューが「Innovators Under 35 Japan 2025」の募集を開始しました。

「Innovators Under 35 Japan」は今年で6回目の開催となり、室蘭工業大学コンピュータ科学センター長の太田香教授も審査員として名を連ね、本年度は「コンピューター／電子機器」「ソフトウェア」「インターネッ

ト」「通信」「AI／ロボット工学」「輸送／宇宙開発」「エネルギー／持続可能性」「医学／生物工学」で活動する35歳未満の起業家、研究者、活動家を募集しております。

募集に関する詳細は以下リンクからご確認ください。

<https://techreviewjp.com/iu35/2025/nominate>



室蘭工業大学が連携機関として参画する「デトネーションエンジン・宇宙推進工学革新研究拠点形成」（代表：名古屋大学）が宇宙戦略基金事業SX研究開発拠点に採択

室蘭工業大学を含む10機関が連携機関として参画する「デトネーションエンジン・宇宙推進工学革新研究拠点形成」（代表機関：名古屋大学）が宇宙戦略基金事業SX研究開発拠点に採択されました。室蘭工業大学では本研究グループにおいて10年以上の共同研究を白老実験場などで実施してきており、令和3年には世界初の回転デトネーションエンジンの宇宙実証、令和6年には世界初の液体推進剤を用いたデトネーションエンジンの宇宙実証にも貢献しました。

今後、これらの成果をさらに発展させ、実施機関での協力体制を密なものとしながら、多彩な推進剤を用いたデトネーションエンジンの作動や、地上離着陸実験への応用可能性を追及してまいります。

●SX研究開発拠点

大学等所属の研究者を対象に、当該研究者等を中核とした体制により宇宙分野の裾野拡大を図りつつ、特色ある技術や分野においてJAXAを超えるような革新的な研究開発成果を創出・社会実装していくための戦略的な構想を推進するものです。

●関連情報（宇宙戦略基金SX研究開発拠点）

- ・宇宙戦略基金事業 技術開発テーマの実施機関を決定
https://www.jaxa.jp/press/2025/01/20250131-2_j.html
- ・名古屋大学（笠原研究室）
https://x.com/nu_peserg/status/188522677532121105
- ・宇宙戦略基金SX研究開発拠点 公募概要
https://fund.jaxa.jp/content/uploads/kobovoroyo_22.pdf

●関連情報（室蘭工業大学）

- ・室蘭工業大学航空宇宙機システム研究センター白老実験場
<https://u.muroran-it.ac.jp/aprec/setsubi/shiraoi/shiraoi.html>
- ・2021年デトネーションエンジンの宇宙飛行実証
https://www.imass.nagoya-u.ac.jp/research/20210819_kasahara.html
- ・2024年デトネーションエンジン宇宙動作実証
<https://muroran-it.ac.jp/research/info/post-26349/>

●本学研究者連絡先

室蘭工業大学航空宇宙機システム研究センター准教授 中田 大将
TEL：0143-46-5389 / E-mail: nakata@muroran-it.ac.jp

「ムロびょんデザインコンテスト2024 ～君の考えたイラストがグッズに！～」の表彰式を行う

令和7年6月6日(金)に「ムロびょんデザインコンテスト2024 ～君の考えたイラストがグッズに！～」の表彰式を行いました。

ムロびょんデザインコンテストは、令和6年12月20日～令和7年3月31日の期間に合計38点の応募作品が集まり、学内審査員の審査により、受賞作品を決定しました。

学長賞を受賞した「ロゴムロびょん」は、本学のロゴとマスコットキャラクタームロびょんを融合したデザイ

ンとなっています。

作成者は「『新しい目線でのデザイン』という部分に重点を置きつつ、そのまま使用できるのは勿論のこと、場面に合わせてアレンジできるようなシンプルなデザインを目指しました」とコメントしておりました。

受賞した作品は、大学の広報物やポスター、オリジナルグッズなどに使用される予定です。



記念撮影の様子



学長賞を受賞した「ロゴムロびょん」

瓦井智貴助教が北海道開発技術研究発表会において 北海道開発協会長賞を受賞

令和7年2月18日(火)～20日(木)に開催された第68回(令和6年度)北海道開発技術研究発表会において、本学の瓦井助教(もの創造系領域)が北海道開発協会長賞を受賞しました。

北海道開発技術研究発表会は、北海道開発事業に係る諸問題に関する調査、研究等の成果を発表することにより、技術等の向上とその普及を図ることを目的として開催されています。

発表される内容は北海道開発事業に関わるさまざまな問題を調査・研究したものになります。自由課題は7つのカテゴリーに分かれており、この度、瓦井助教は『安

全・安心』これらの分類に沿ったテーマで発表し、受賞されました。

【受賞者のコメント】

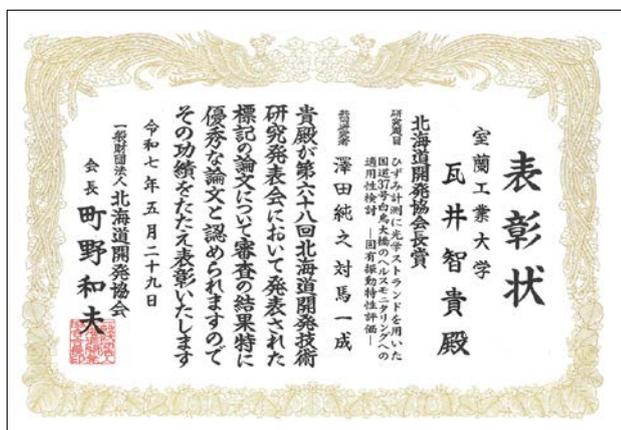
北海道開発協会長賞を受賞することができ、誠に嬉しく思います。本論文は長大橋の合理的な維持管理手法の確立を目的に白鳥大橋を対象にIoT技術と光学ストランドを用いた長期的なモニタリング結果を論じたものです。本研究を推進するにあたりご支援ご協力頂きました室蘭開発建設部、日揮(株)、安藤ハザマの関係各位に感謝申し上げます。



受賞された瓦井助教(中央:瓦井助教)



表彰式の様子



授与された表彰状

庭山聡美教授がInternational Association of Advanced Materials (IAAM) Scientist Medal を受賞

令和7年5月26日(月)～28日(水)にスウェーデンの学会International Association of Advanced Materials (IAAM) が主催する 64th Assembly of Advanced Materials Congress and World Fellow Summitがストックホルム－ヘルシンキ間を就航するクルーズ船上にて開催されました。

本学から庭山聡美教授(しくみ解明系)が遠隔で参加し、“Environmentally Benign and Highly Efficient Selective Monohydrolysis of Symmetric Diesters”というタイトルで受賞講演を行い、IAAM Scientist Medalを受賞しました。このメダルは広い意味でマテリアルサ

イエンスの分野に貢献した研究者に対してIAAMから毎年授与されるもので、庭山教授の環境に優しく実用的な反応の開発と応用が評価されました。

【受賞者のコメント】

このたびは今まで縁もゆかりもないと思っていたスウェーデンの学会から予期せずしてこのように非常に名誉な賞を賜り、大変驚くとともに大変光栄に存じます。これも私の学生達の努力の賜物であると思います。今後も世界中の人類にとって真に有用な有機化学の研究を目指して一層邁進してゆきたい所存です。



授与された表彰状

有村幹治教授が 「2025年Springer Nature 編集貢献賞」を受賞

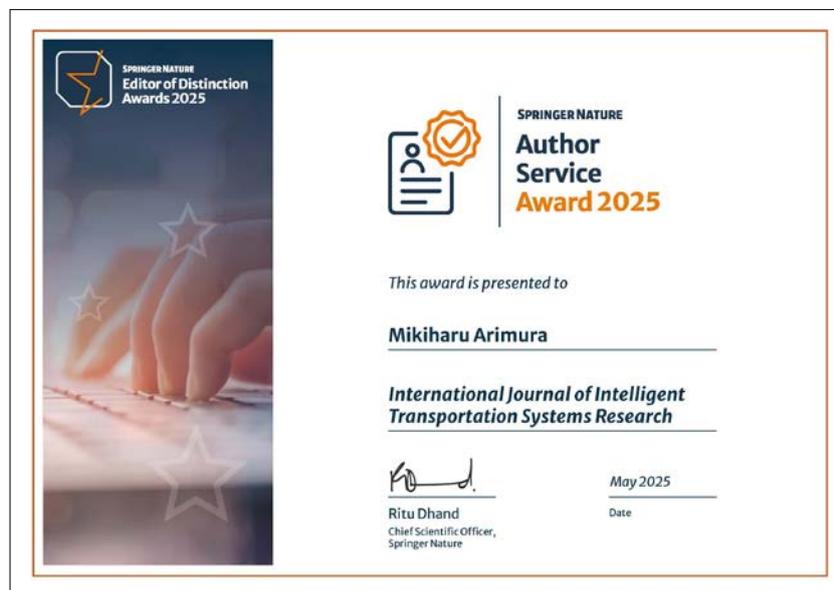
もの創造系領域の有村幹治教授が、国際的な学術出版社 Springer Nature社より「2025年Springer Nature 編集貢献賞 (Springer Nature Editor of Distinction Awards)」を受賞しました。

この賞は、学術誌に掲載される論文の質を高め、研究の信頼性や学術的な正確性を保つために貢献した編集者に贈られるものです。有村教授は、同社が発行する学術誌『International Journal of Intelligent Transportation Systems Research』において、長年にわたり専門的かつ献身的に編集活動を続けてこられました。特に、新しく投稿された論文の査読を適切に管理し、公平かつ厳正な審査を通じて、質の高い研究成果の発信に尽力されたことが高く評価されました。

Springer Nature社は自然科学・医学・工学・社会科学など多くの分野で書籍や学術誌を出版する世界的な出版社です。代表的な学術誌には『Nature』や『Scientific Reports』などがあります。

【受賞者のコメント】

このたびは「Springer Nature 編集貢献賞」を賜り、大変光栄に存じます。2018年より本学術誌の編集業務に携わる中で、モビリティ分野の先端技術を研究する世界中の専門家の皆様に査読をお願いし、編集に取り組んでまいりました。日頃よりご支援・ご協力をいただいている本学の教員の皆様、そして査読者の皆様に、心より感謝申し上げます。



表彰状

日本学生支援機構海外留学支援制度（協定受入）奨学金プログラム 台湾国立屏東大学「Unity Bridge: 課題解決型学習を通じた日台協働 によるグローバル情報人材育成プログラム」及び「台湾人学生が考える ウレシパーアイヌ文化研究」実施について

坂本 裕子・寺岡 諒・境 謙

令和7年度日本学生支援機構海外留学支援制度（協定受入）において、本学と台湾・国立屏東大学が連携した2件のプログラム「Unity Bridge」、「台湾人学生が考えるウレシパー」が採択され、令和7年6月9日(月)から24日(火)までの16日間にわたり一部合同で実施されました。屏東大学からは情報学部、応用日本語学科、英語学科の学生13名が、本学からは過去に屏東大学での研修に参加した学生を中心に23名、合計36名が参加しました。

両プログラムにおいては、日台学生によるプロジェクトワークを主軸に、多彩な活動が展開されました。ロボットアリーナや国立アイヌ民族博物館での体験学習、語学講座やアイヌ文化に関する講座、プレゼンテーションワークショップなどが実施されました。さらに、本学の学生とともに札幌・富良野・洞爺湖を訪れる見学旅行も行われ、学びの幅を広げるとともに、日台学生間の交流を深める貴重な機会となりました。また、開会に際しては、屏東大学の学生たちが松田瑞史学長および増田隆夫理事・副学長・国際交流センター長を表敬訪問し、温かい激励の言葉をいただきました。

「Unity Bridge」では、観光で来日する台湾人特有の困りごとを解決すべく、台湾人観光客向けの旅行支援アプリ開発に取り組みました。「台湾人学生が考えるウレシパー」では、国立アイヌ民族博物館のご協力のもと、現代を生きるアイヌ文化と台湾原住民・客家文化の比較研究に取り組み、共通点を見出しながら、多文化共生のあり方を提案しました。

最終日の成果発表会後、カフェ TENTOで行われた送別会では、両大学の学生が手紙やお菓子を交換し、親睦を深めながら別れを惜しみつつ交流の時間を楽しみました。



写真1. 学長表敬訪問



写真2. 本学学生との交流（洞爺湖見学）

本プロジェクトの実施にあたりご支援とご協力を賜りました国立アイヌ民族博物館の関係者の皆様、ご対応いただきました本学の先生方、ならびにロボットアリーナ、国際交流センターの皆様にご心より感謝申し上げます。

情報・資料

MONOづくりみらい共創機構「プレ共同研究」(3回目)の採択

令和7年度MONOづくりみらい共創機構プレ共同研究(3回目)公募の結果、次のとおり採択されました。

本事業は、本学教員と民間機関等との研究者が、次年度以降において民間機関等との共同研究へ発展させるための前段階に相当する共同研究に対して助成を行うものです。

研究代表者・職・氏名	民間企業等	採択金額(千円)
しくみ解明系領域 准教授 泉 佑 太	(株)エーティック	500
合 計(1件)		500

国立大学法人室蘭工業大学の役職員の報酬・給与等について

様式1 公表されるべき事項

国立大学法人室蘭工業大学（法人番号4430005010204）の役職員の報酬・給与等について（令和6年度）

I 役員報酬等について

1 役員報酬についての基本方針に関する事項

① 役員報酬の支給水準の設定についての考え方

本学の主要事業は教育・研究事業である。役員報酬水準を検討するにあたって、他の国立大学法人、国家公務員等のほか、以下を参考とした。

事務次官年間報酬額…23,235千円

② 令和6年度における役員報酬についての業績反映のさせ方（業績給の仕組み及び導入実績を含む。）

本学の役員に支給する期末特別手当（ボーナス）において、役員の俸給等に当該役員の職務実績に応じて、期末特別手当額の100分の10の範囲内で増額又は減額することができることとしており、経営協議会の議を経るものとしている。

③ 役員報酬基準の内容及び令和6年度における改定内容

法人の長

役員報酬支給基準は、俸給及び諸手当（地域手当、通勤手当、単身赴任手当、期末特別手当及び寒冷地手当）から構成されている。俸給については、国立大学法人室蘭工業大学役員の給与、退職手当、紀律、旅費に関する規則に則り、俸給（979,000円）を支給している。期末特別手当についても、同規則に則り、基礎額（俸給＋俸給×100分の20＋俸給×100分の25）に100分の172.5を乗じ、さらに、基準日以前6箇月以内の期間におけるその者の在職期間に応じた割合を乗じて得た額としている。また、この額は、その者の職務実績に応じて、その額の100分の10の範囲内で、これを増額し、又は減額することができる。

なお、令和6年度では、国家公務員の給与改定に準拠し、常勤役員俸給表を一般職俸給表（一）との均衡を考慮した改正（引き上げ改定）を実施した。

また、期末特別手当支給率の引き上げ（年間3.40ヵ月分→年間3.45ヵ月分）を実施した。

理事

役員報酬支給基準は、法人の長と同様であるが、俸給については、716,000円から979,000円の範囲で法人の長が定めることとしている。

なお、令和6年度における改定内容は法人の長と同じである。

理事（非常勤）

該当者なし

監事

役員報酬支給基準は、法人の長と同様であるが、俸給については、月額716,000円を支給している。なお、令和6年度における改定内容は法人の長と同じである。

監事（非常勤）

役員報酬支給基準は、俸給のみで構成されている。俸給については、月額196,000円の定額としている。

なお、令和6年度では、国家公務員の給与改定に準拠し、非常勤の役員の俸給を、一般職俸給表（一）との均衡を考慮した改正（引き上げ改定）を実施した。

2 役員の報酬等の支給状況

役名	令和6年度年間報酬等の総額				就任・退任の状況		前職
	千円	報酬（給与） 千円	賞与 千円	その他（内容） 千円	就任	退任	
法人の長	16,770	11,748	4,897	0（通勤手当） 125（寒冷地手当）	R6.4.1		※
A理事	13,251	9,264	3,861	0（通勤手当） 125（寒冷地手当）			※
B理事	12,384	8,592	3,581	85（通勤手当） 125（寒冷地手当）	R6.4.1		※
C理事	11,063	8,592	2,346	0（通勤手当） 125（寒冷地手当）	R6.4.1		※
A監事	6,227	5,012	1,090	0（通勤手当） 125（寒冷地手当）	R6.9.1		
B監事 （非常勤）	1,372	1,372	0	0（ ）	R6.9.1		※
C監事 （非常勤）	970	970	0	0（ ）		R6.8.31	
D監事 （非常勤）	970	970	0	0（ ）		R6.8.31	

注1：「その他」欄には手当等が支給されている場合は、例えば通勤手当の総額を記入する。

注2：「前職」欄には、役員の前職の種類別に以下の記号を付す。

退職公務員「*」、役員出向者「◇」、独立行政法人等の退職者「※」、退職公務員でその後独立行政法人等の退職者「**」、該当がない場合は空欄

3 役員の報酬水準の妥当性について

【法人の検証結果】

法人の長

本学は、未来をひらく科学技術者の育成、人間・社会・自然との調和を考えた創造的な科学技術研究の展開、地域社会さらには国際社会における知の拠点として社会の発展への貢献、という本学の理念に基づき、国際的通用性をもった科学技術者の育成、科学技術分野における知の創造、産学官連携及び地域貢献を使命としており、学部及び大学院博士前期課程を通じた教育の重点化、本学の特色を活かした特定分野における研究の高度化の推進、学術研究成果を積極的に発信することによる地域の発展への貢献を学長のリーダーシップの下で推進している。本学の学長は、教職員約300名を有する法人を代表し、その業務を総理するとともに、校務を司り、所属職員を統督して、経営責任者と教学責任者との職務を同時に担っている。また、本学は、学長の報酬月額を法人化移行前の国家公務員指定職俸給表の俸給月額を踏まえて決定しているが、学長の職務内容の特性は上記のとおり法人化移行前と同等以上であり、これまでの各年度における業績評価の結果を勘案したものである。

こうした職務内容の特性等を踏まえると、報酬水準は妥当であると考えます。

理事

本学には3名の理事がおり、学長のリーダーシップの下、それぞれが総務・財務担当及び学術・情報担当、研究・連携担当として学長を補佐し、本学の業務を掌理している。

理事の年間報酬額は他の工科系国立大学の理事の報酬水準（電気通信大学、豊橋技術科学大学及び京都工芸繊維大学の理事の平均年間報酬額13,315千円：地域手当その他諸手当を除く。）と同水準である。（令和5年度実績）

こうした職務内容の特性や上記との比較を踏まえると、報酬水準は妥当であると考えます。

理事（非常勤）

該当者なし

監事

本学には1名の監事（常勤）がおり、本学の業務全般についての監査を行い、監査結果に基づき、必要があると認められるときは学長又は文部科学大臣へ意見を提出する等の役割を担っている。

監事（常勤）の年間報酬額は他の単科の国立大学の監事（常勤）の報酬水準（北海道教育大学、旭川医科大学及び浜松医科大学の監事（常勤）の平均年間報酬額11,391千円）と同水準でもある。（令和5年度実績）

こうしたことから、報酬水準は妥当であると考えます。

監事（非常勤）

本学には1名の監事（非常勤）がおり、本学の業務全般についての監査を行い、監査結果に基づき、必要があると認められるときは学長又は文部科学大臣へ意見を提出する等の役割を担っている。

監事（非常勤）の報酬支給基準は、常勤の役員の俸給をもとに算定している。

監事（非常勤）の年間報酬額は他の工科系国立大学の監事（非常勤）の報酬水準（電気通信大学、豊橋技術科学大学及び京都工芸繊維大学の監事（非常勤）の平均年間報酬額2,405千円）と同水準でもある。（令和5年度実績）

こうしたことから、報酬水準は妥当であると判断している。

【文部科学大臣の検証結果】

職務内容の特性や国家公務員指定職適用官職、他の同規模の国立大学法人との比較などを考慮すると、役員の報酬水準は妥当であると考えます。

4 役員の退職手当の支給状況（令和6年度中に退職手当を支給された退職者の状況）

区分	支給額（総額）	法人での在職期間		退職年月日	業績勘案率	前職
法人の長	千円 該当者なし	年	月			
理事	千円 該当者なし	年	月			
監事	千円 該当者なし	年	月			
監事 (非常勤)	千円 該当者なし	年	月			

注：「前職」欄には、退職者の役員時の前職の種類別に以下の記号を付す。

退職公務員「*」、役員出向者「◇」、独立行政法人等の退職者「※」、退職公務員でその後独立行政法人等の退職者「**」、該当がない場合は空欄

5 退職手当の水準の妥当性について

【法人の判断理由等】

区分	判断理由
法人の長	該当者なし
理事	該当者なし
監事	該当者なし
監事 (非常勤)	該当者なし

注：「判断理由」欄には、法人の業績、担当業務の業績及び個人的な業績の検討結果を含め、業績勘案率及び退職手当支給額の決定に到った理由等を具体的に記入する。

【文部科学大臣の検証結果】

該当なし

6 業績給の仕組み及び導入に関する考え方

役員に支給する期末特別手当（ボーナス）において、役員の俸給等に当該役員の職務実績に応じて、期末特別手当額の100分の10の範囲内で増額又は減額することができることとしており、今後も継続する。

II 職員給与について

1 職員給与についての基本方針に関する事項

① 職員給与の支給水準の設定等についての考え方

本学職員の給与水準を検討するにあたって、一般職の職員の給与に関する法律に定める職種に応じた俸給表の内、行政職俸給表（一）の平均給与月額を参考にした他、令和6年度職種別民間給与実態調査によるデータのうち、企業規模別（本学約300人）・職種別平均支給額を参考にした。

（1）国家公務員…令和6年度において、国家公務員のうち行政職俸給表（一）の平均給与月額は405,378円となっており、全職員の平均給与月額は414,801円となっている。

（2）職種別民間給与実態調査において、本学と同等の規模（100人以上500人未満）で、事務係長の大学卒の4月の平均支給額は426,744円となっている。

② 職員の発揮した能率又は職員の勤務成績の給与への反映方法についての考え方（業績給の仕組み及び導入実績を含む。）

賞与：勤勉手当（査定分）：基準日（6月1日・12月1日）以前における直近の人事評価の結果及び基準日以前6箇月以内の期間における勤務の状況に応じて決定される支給割合（成績率）に基づき支給することができる。

昇給：5段階の昇給区分（号俸数）により、昇給日（1月1日）において学長が定める日以前1年間における勤務成績に応じて昇給することができる。

昇格・降格：勤務成績が特に良好な職員で本学が定める基準を満たしている者については、その者が従事する職務に応じ、かつ総合的な能力の評価により、1級上位の級に昇格させることができる。また、勤務実績がよくない等のため降任した場合に、下位の級に降格させることができる。

③ 給与制度の内容

国立大学法人室蘭工業大学職員の給与等に関する規則に則り、俸給及び諸手当（俸給の調整額、俸給の特別調整額、初任給調整手当、扶養手当、地域手当、広域異動手当、住居手当、通勤手当、単身赴任手当、長期出向等手当、特殊勤務手当、超過勤務手当、休日勤務手当、管理職員特別勤務手当、期末手当、勤勉手当、寒冷地手当、入試手当、学位論文審査手当、作業環境測定業務従事手当、大学主催事業等従事手当、安全衛生巡視業務従事手当及び産業医業務従事手当）としている。

期末手当については、期末手当基礎額（（俸給月額＋俸給の調整額）＋扶養手当）＋これらに対する地域手当及び広域異動手当＋役職加算額）に100分の125を乗じ、さらに基準日以前6箇月以内の期間におけるその者の在職期間に応じた割合を乗じて得た額としている。

勤勉手当については、勤勉手当基礎額（（俸給月額＋俸給の調整額）＋これらに対する地域手当及び広域異動手当＋役職加算額）に勤務成績に応じて、学長が基準日ごとに定める割合を乗じ、さらに基準日以前6箇月以内の期間におけるその者の在職期間に応じた割合を乗じて得た額としている。

④ 給与制度の令和6年度における主な改定内容

(1) 俸給表

①一般職俸給表(一)

1級(大卒程度)の初任給を23,800円、1級(高卒者)の初任給を21,400円引上げ。これを踏まえ、若手層が在職する号俸に重点を置き、そこから改定率を逡減させる形で全ての号俸について所要の改正を行う(平均改定率3.0%)。

②その他の俸給表

一般職俸給表(二)、教育職俸給表、医療職俸給表及び指定職俸給表も上記との均衡を考慮した改正を行う。

(2) 俸給の調整額

・1級1号俸の調整基本額を11円引き上げる。

(3) 俸給の特別調整額

・8級I種の俸給の特別調整額を400円引き上げる。

(4) 期末手当及び勤勉手当

・期末手当及び勤勉手当の年間の支給月数を0.10月分引上げて4.60月とする。

・引上げ分は、期末手当及び勤勉手当に均等に配分する。

(5) 初任給調整手当

・医療職俸給表の改定状況を勘案し、医師の処遇を確保する観点から、支給月額を500円引上げる。

(6) 寒冷地手当

・民間における同種手当の支給額を踏まえ、支給月額を11.3%引き上げる。

(7) 産業医業務従事手当

・産業医業務の多様化及び業務量増加を踏まえ、産業医の処遇を改善する観点から手当を新設する。手当額は、産業医業務に従事した月1月につき10,000円を支給する。

2 職員給与の支給状況

① 職種別支給状況

区分	人員	平均年齢	令和6年度の年間給与額（平均）			
			総額	うち所定内		うち賞与
				うち通勤手当		
常勤職員	人 168	歳 49.3	千円 7,602	千円 5,461	千円 34	千円 2,141
事務・技術	人 86	歳 42.7	千円 6,067	千円 4,420	千円 33	千円 1,647
教育職種 (大学教員)	人 82	歳 56.2	千円 9,213	千円 6,555	千円 35	千円 2,658
医療職種 (病院医師)	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円
医療職種 (病院看護師)	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円
その他医療職種 (看護師)	人	歳	千円	千円	千円	千円

【年俸制適用者】

区分	人員	平均年齢	令和6年度の年間給与額（平均）			
			総額	うち所定内		うち賞与
				うち通勤手当		
常勤職員	人 69	歳 45.5	千円 7,959	千円 7,959	千円 44	千円 0
事務・技術	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円
教育職種 (新年俸制適用職員)	人 61	歳 44.9	千円 7,890	千円 7,890	千円 42	千円 0
教育職種 (旧年俸制適用職員)	人 8	歳 50.1	千円 8,484	千円 8,484	千円 60	千円 0
医療職種 (病院医師)	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円
医療職種 (病院看護師)	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円
その他医療職種 (看護師)	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円
再任用職員	人 3	歳 63.5	千円 4,056	千円 2,992	千円 25	千円 1,064
事務・技術	人 3	歳 63.5	千円 4,056	千円 2,992	千円 25	千円 1,064
教育職種 (大学教員)	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円
医療職種 (病院医師)	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円
医療職種 (病院看護師)	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円

情報・資料

非常勤職員	人	歳	千円	千円	千円	千円
事務・技術	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円
教育職種 (大学教員)	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円
医療職種 (病院医師)	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円
医療職種 (病院看護師)	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円
技能・労務職種	人	歳	千円	千円	千円	千円

【年俸制適用者】

非常勤職員	人 7	歳 59.9	千円 7,527	千円 7,527	千円 69	千円 0
事務・技術	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円
教育職種 (大学教員)	人 7	歳 59.9	千円 7,527	千円 7,527	千円 69	千円 0
医療職種 (病院医師)	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円
医療職種 (病院看護師)	人 該当者なし	歳	千円	千円	千円	千円

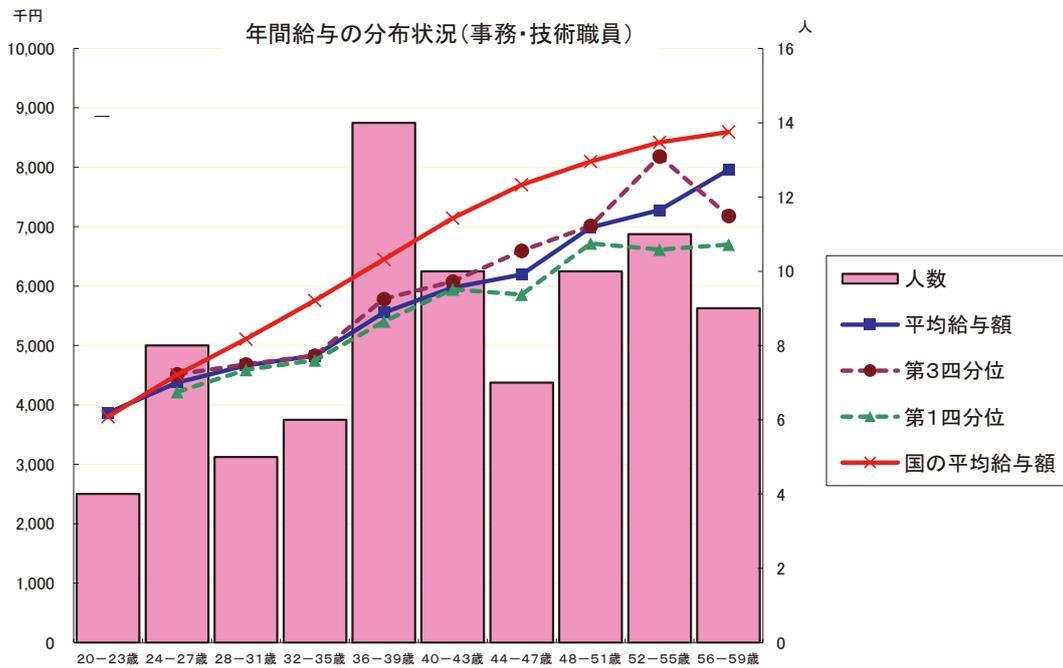
注1：常勤職員の「その他医療職種（看護師）」及び非常勤職員の「技能・労務職種」については、該当者が1人のため、当該個人に関する情報が特定されるおそれのあることから、区分以外は記載せず、常勤職員及び非常勤職員全体の数値からも除外している。

注2：常勤職員については、在外職員、任期付職員及び再雇用職員を除く。

注3：「年間給与額」は、時間外手当を除く給与の額

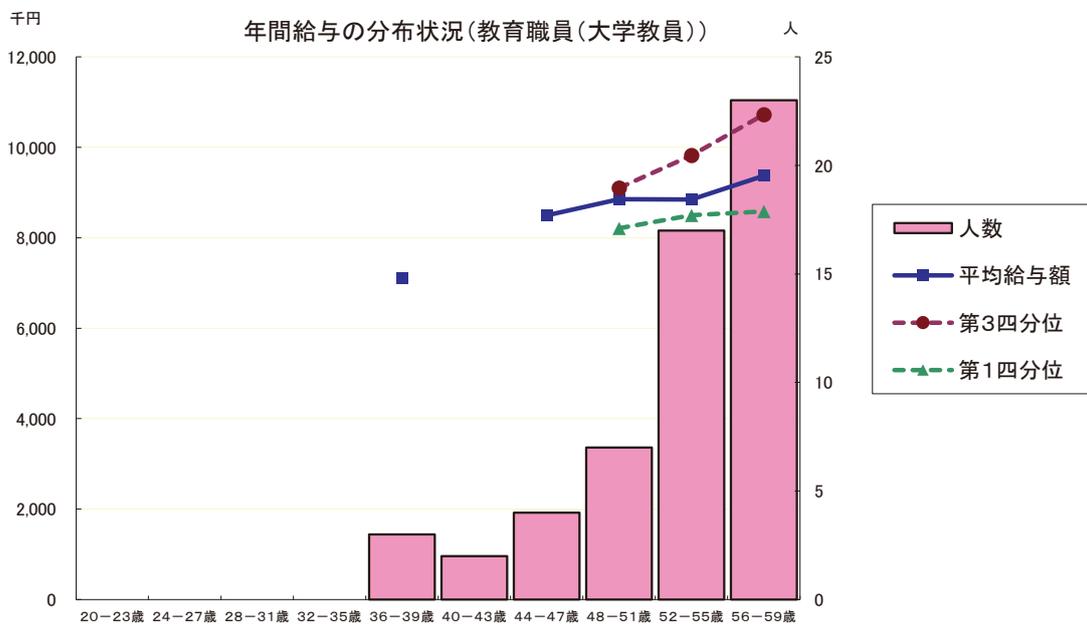
注4：「通勤手当等」は、通勤手当と在宅勤務等手当の合算

② 年齢別年間給与の分布状況（事務・技術職員／教育職員（大学教員））〔在外職員、任期付職員、再雇用職員、年俸制適用者69人を除く。以下、④まで同じ。〕



注1：①の年間給与額から通勤手当等を除いた状況である。以下、④まで同じ。

注2：年齢20～23歳の該当者は4人であるため、当該個人に関する情報が特定されるおそれのあることから、年間給与額の第1・第3四分位については表示していない。



注1：①の年間給与額から通勤手当を除いた状況である。以下、④まで同じ。

注2：年齢40～43歳の該当者は2人以下であるため、当該個人に関する情報が特定されるおそれのあることから、平均給与額については表示していない。

注3：年齢36～39歳、40～43歳、44～47歳の該当者は4人以下であるため、当該個人に関する情報が特定されるおそれのあることから、年間給与額の第1・第3四分位については表示していない。

③ 職位別年間給与の分布状況（事務・技術職員／教育職員（大学教員））
（事務・技術職員）

分布状況を示すグループ	人員	平均年齢	年間給与額	
			平均	(最高～最低)
	人	歳	千円	千円
局長	1			
部長	1			
課長	6	52.0	8,219	9,162～7,013
副課長	9	53.4	7,027	7,823～6,696
係長	36	46.4	6,201	7,339～5,332
主任	11	36.9	5,175	5,634～4,718
係員	20	28.4	4,420	4,966～3,791
特命職	2			

注1：「副課長」には課長補佐相当職である「室長」及び「技術専門員」を、「係長」には係長相当職である「技術専門職員」を、「係員相当」には「事務職員」のほか「技術職員」をそれぞれ含む。

注2：局長、部長、特命職の該当者は2人以下のため、当該個人に関する情報が特定されるおそれのあることから、平均年齢及び年間給与の平均額については記載していない。

（教育職員（大学教員））

分布状況を示すグループ	人員	平均年齢	年間給与額	
			平均	(最高～最低)
	人	歳	千円	千円
教授	35	59.5	10,416	11,732～9,339
准教授	35	54.5	8,662	9,375～7,677
講師	1			
助教	11	50.7	6,972	7,448～6,637

注：講師の該当者は1人のため、当該個人に関する情報が特定されるおそれのあることから、平均年齢及び年間給与の平均額については記載していない。

④ 賞与（令和6年度）における査定部分の比率（事務・技術職員／教育職員（大学教員））

区分		夏季（6月）	冬季（12月）	計
管理職員	一律支給分（期末相当）	% 50.4	% 50.5	% 50.4
	査定支給分（勤勉相当） （平均）	% 49.6	% 49.5	% 49.6
	最高～最低	% 58.7～42.6	% 56.8～43.1	% 57.3～42.9
一般職員	一律支給分（期末相当）	% 54.4	% 54.4	% 54.4
	査定支給分（勤勉相当） （平均）	% 45.6	% 45.6	% 45.6
	最高～最低	% 49.8～41.7	% 49.8～41.9	% 48.8～41.8

区分		夏季（6月）	冬季（12月）	計
管理職員	一律支給分（期末相当）	% 53.1	% 52.7	% 52.9
	査定支給分（勤勉相当） （平均）	% 46.9	% 47.3	% 47.1
	最高～最低	% 49.8～43.4	% 49.8～44.8	% 47.6～46.1
一般職員	一律支給分（期末相当）	% 54.8	% 54.5	% 54.7
	査定支給分（勤勉相当） （平均）	% 45.2	% 45.5	% 45.3
	最高～最低	% 49.7～42.3	% 49.8～43.5	% 47.7～43.4

3 給与水準の妥当性の検証等

事務・技術職員

項目	内容
対国家公務員 指数の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢勘案 87.4 ・年齢・地域勘案 97.3 ・年齢・学歴勘案 86.5 ・年齢・地域・学歴勘案 96.5 （参考）対他法人 101.1
国に比べて給与 水準が高くなっ ている理由	
給与水準の妥当 性の検証	<p>（法人の検証結果）</p> <p>【国からの財政支出について】 支出予算の総額に占める国からの財政支出の割合 59.64% （国からの財政支出額 3,501百万円、支出予算の総額 5,870百万円：令和6年度予算）</p> <p>【累積欠損額について】 累積欠損額 0円（令和5年度決算）</p> <p>【大卒以上の高学歴者の割合 72.0%（常勤職員数86名中62名）】</p> <p>【支出総額に占める給与・報酬等支給総額の割合42.25%】 （支出総額 5,115,396千円、給与・報酬等支給総額 2,161,483千円：令和5年度決算）</p> <p>（法人の検証結果） 支出予算の総額に占める国からの財政支出の割合はやや高いものの、累積欠損はなく、対国家公務員指数も100以下であるため、給与水準は適切であると考えている。</p> <p>（文部科学大臣の検証結果） 法人の職員の給与水準は、職務の特性や国家公務員、民間企業の従業員の給与等を勘案し、設定の考え方を明らかにすることが求められており、国家公務員と比べて給与水準が高い法人は、その合理性及び妥当性について、説明責任を果たすべきこととされている。（独立行政法人改革等に関する基本的な方針（平成25年12月24日閣議決定）） 当該法人は、国家公務員の給与、他の国立大学法人の給与及び民間企業の従業員の給与等を総合的に勘案したうえで、職員の給与水準を設定しており、法人における給与水準の妥当性の検証結果から、適切な対応が執られていると考える。引き続き、適切な給与水準の設定に努めていきたい。</p>
講ずる措置	職員の給与水準については、今後も引き続き社会一般の情勢に適合したものになるよう努める。

○教育職員（大学教員）と国家公務員との給与水準の比較指標 88.1

注：上記比較指標は、法人化前の教育職（一）と行政職（一）の年収比率を基礎に、令和5年度の教育職員（大学教員）と国の行政職（一）の年収比率を比較して算出した指数である。

4 モデル給与

●事務・技術職員
 (扶養親族がない場合)
 ○22歳(事務局「係員」、大卒初任給)
 月額 220,000円 年間給与 3,634,000円
 ○35歳(事務局「係長」)
 月額 300,100円 年間給与 5,025,000円
 ○50歳(事務局「副課長」)
 月額 378,900円 年間給与 6,430,000円

●教育職員(大学教員)
 (扶養親族がない場合)
 ○27歳(助教、博士修了初任給)
 月額 339,350円 年間給与 5,606,000円
 ○35歳(助教)
 月額 364,450円 年間給与 6,103,000円
 ○50歳(教授)
 月額 532,600円 年間給与 9,159,000円

※扶養親族がいる場合には、扶養手当(配偶者6,500円、子1人につき10,000円)を支給(月額)

5 業績給の仕組み及び導入に関する考え方

職員の勤務成績に応じて、昇給、昇格及び降格の実施並びに勤勉手当(6月期・12月期)支給割合の増減を行っており、今後も継続する。

III 総人件費について

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
給与、報酬等支給総額 (A)	千円 2,071,991	千円 2,161,483	千円 2,163,955	千円	千円	千円
退職手当支給額 (B)	千円 55,244	千円 219,491	千円 176,829	千円	千円	千円
非常勤役職員等給与 (C)	千円 281,055	千円 258,055	千円 258,151	千円	千円	千円
福利厚生費 (D)	千円 361,571	千円 372,277	千円 371,794	千円	千円	千円
最広義人件費 (A+B+C+D)	千円 2,769,861	千円 3,011,306	千円 2,970,729	千円	千円	千円

注1：中期目標期間の開始年度分から当年度分までを記載する。

注2：「非常勤役職員等給与」においては、受託研究費等により雇用される職員に係る費用を含んでいるため、財務諸表附属明細書「18役員及び教職員の給与の明細」における非常勤の合計額と一致しない。

総人件費について参考となる事項

- ・「給与、報酬等支給総額」の対前年度比が0.11%増となった要因
俸給表引き上げ（平均改定率3.0%）及びボーナス（期末手当及び勤勉手当）の年間支給月数の引き上げ（0.10月分）を実施したため給与、報酬等支給総額が前年度より0.11%増額した。
- ・「退職手当支給額」の対前年度比が19.4%減となった要因
昨年度より定年退職者等が減少したため退職手当支給額が前年度より19.4%減額した。
（令和5年度定年退職者等14名、令和6年度定年退職者等10名）
- ・「最広義人件費」の対前年度比が1.35%減となった要因
上記に記載した要因による職員、給与、報酬等支給総額の増加、定年退職者等の減少により最広義人件費は前年度より1.35%減額した。

IV 定年制度及び60歳以上の職員の給与制度

教育職員（大学教員）の定年年齢は65歳である。事務・技術職員については令和5年4月1日に定年年齢を60歳から61歳に引き上げた。定年年齢の引上げに伴い、事務・技術職員については、60歳に達した職員は特命職に配置換する制度を設けているほか、職員の基本給について61歳に達する年度から58%水準とし、最低額を定めた。

V その他

特になし

外部資金

民間等との共同研究の受入れ

研究代表者・職・氏名	相手方区分	金額(千円)
もの創造系領域 准教授 安藤 哲也	大企業	1,950
もの創造系領域 助教 藤平 祥孝	大企業	1,101
しくみ解明系領域 教授 近藤 敏志	大企業	1,690
しくみ解明系領域 准教授 小林 洋介	大企業	2,202
合計(4件)		6,943

※大企業・中小企業の別は、中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条による。

受託研究等の受入れ

研究代表者・職・氏名	委託先区分	金額(千円)
しくみ解明系領域 准教授 上井幸司	地方公共団体	1,400
合 計 (1件)		1,400

奨学寄附金の受入れ

寄 附 者	目 的	金 額 (千円)
個人寄附者 (1件)	工 学 研 究 助 成	750
株式会社ドーコン	工 学 研 究 助 成	1,000
公益財団法人池谷科学技術振興財団	工 学 研 究 助 成	3,000
株式会社特殊衣料	工 学 研 究 助 成	100
ドーピー建設工業株式会社	工 学 研 究 助 成	500
一般社団法人日本鉄鋼連盟	工 学 研 究 助 成	50
公益財団法人工作機械技術振興財団	工 学 研 究 助 成	4,000
東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ株式会社	工 学 研 究 助 成	600
生活協同組合コープさっぽろ	工 学 研 究 助 成	100
株式会社南組	工 学 研 究 助 成	1,000
株式会社マテック	工 学 研 究 助 成	500
一般財団法人北海道河川財団	工 学 研 究 助 成	750
巻き込みジオグリッドカルバート基礎補強工法研究会	工 学 研 究 助 成	250
合 計 (13件)		12,600

人 事

人 事 異 動

国立大学法人
室蘭工業大学長発令

発令年月日	異 動 内 容	氏 名	現 職
	〈昇 任〉		
令和7年7月1日	大学院工学研究科教授（もの創造系領域）	安 藤 哲 也	大学院工学研究科准教授 （もの創造系領域）
	大学院工学研究科准教授（しくみ解明系領域）	泉 佑 太	大学院工学研究科助教 （しくみ解明系領域）
	施設課主任（施設係（設備担当））	三 平 淳 也	施設課係員（施設係（設備担当））
	〈出 向〉		
令和7年7月1日	北海道大学病院管理課主任（用度第一担当）	鈴 木 俊 祐	経理課主任（調達係）
	〈辞 職〉		
令和7年6月16日		中 山 梨 花	入試戦略課 事務補佐員
令和7年6月30日		阿 部 晃 成	大学院工学研究科 博士研究員

学内会議

学内各種委員会等の開催

< 5月25日～6月24日 >

開催日時 令和7年5月27日(火)

会議名 第5回役員会

開催日時 令和7年5月28日(水)

会議名 第3回企画戦略会議

開催日時 令和7年6月3日(火)

会議名 大学院工学研究科博士後期課程専攻長等会議(臨時)

開催日時 令和7年6月5日(木)

会議名 第3回教育研究評議会

開催日時 令和7年6月10日(火)

会議名 第4回企画戦略会議

開催日時 令和7年6月17日(火)

会議名 第6回役員会

開催日時 令和7年6月23日(月)

会議名 第5回企画戦略会議

学内行事

- 5月29日(木) 名誉教授称号授与式
- 5月29日(木) 名誉教授との懇談会
- 6月6日(金) 合格発表【令和8年度 編入学推薦入試】
- 6月9日(月) 日本学生支援機構海外留学支援制度(協定受入)奨学金プログラム
台湾国立屏東大学対象研修プログラム
(24日まで)
- 6月21日(土) Muroran-IT Rare Earth Workshop 2025
(22日まで)

学外行事

- 5月28日(水) 第1回はこだて未来大学
令和7年度経営審議会・役員会(函館)
- 6月10日(火) 令和7年度苫小牧CCUS・ゼロカーボン
推進協議会 総会及び講演会(苫小牧)
- 6月12日(木) 北海道掲載連合会 創立50周年記念式典
および第51回定時総会(札幌)
- 6月13日(金) スーパー連携大学コンソーシアム 2025
年度定時総会(オンライン)

室蘭工業大学 人物図鑑

室蘭工業大学に所属する教員・職員に
専門分野、業務内容、室工大の
Good Pointなどを聞いてみました。

- ①専門・業務内容
- ②室工大のGood Point
- ③室工大で好きなspot



Part
27

准教授
上井幸司



- ①天然物有機化学、北海道未利用資源の活用
- ②小さい大学で教員間の距離が近いこともあり、
連携がしやすい
真面目にコツコツこなす学生が多い
- ③大学内の試験圃場
(栽培植物の生長を楽しみに見ます)
冬のカエデの木
(アカゲラが木をつついてます)
学内から見上げる冬の室蘭岳
(晴れの日には最高です)

Part
28

教授・学長補佐(国際)
永野宏治



- ①地下計測工学、留学生(受入・派遣)に関わる
仕事
- ②全分野の学生と教員が容易につながれる環境
がある
- ③R棟南側の桜

編集後記

◆ 令和7年7月7日(月)、七夕の室蘭は、最高気温31.7度を観測し、暑い1日となりました。ちなみに北海道の七夕は室蘭などの一部を除き、8月7日に行われます。これは、旧暦の7月7日が新暦の8月上旬頃になることに由来します。そして、北海道七夕の風物詩は「ローソク出ーせー出ーせーよー 出ーさーないとー かつちやくぞー おーまーけーにー噛み付くぞー 噛み付いたら放さんぞー」でお馴染みの「ろーそくもらい」です。子供たちが提灯やランタンを持って近所を回り、お菓子をもらうもので、道外出身の方は??な風習だそうです。私たち大学業界では周知の事実ですが、18歳人口は1992年では205万人、5年後の2030年には101万人になることが予想されており、室工大でも学生募集などで大きな問題になっております。子供が少なくなっていることは、この「ろーそくもらい」でも実感できます。私が子供の頃は、町内のあちらこちらで「ローソク出ーせー出ーせーよー」の声が聞こえてましたが、最近はこちらは聞こえません。

「ローソク出ーせー出ーせーよー」の子供の声が聞こえなくなることは、寂しい限りです。受験生が少なくなる寂しさは、何としても防がなくては…。



令和7年7月7日(月)七夕の室工大正門前通り、子供の声は聞こえない。※そもそも暑すぎて外出できなかった疑惑あり。

(Garoon : 総務広報課秘書広報係、E-mail : koho@muroran-it.ac.jp)

(総務広報課秘書広報係)



室蘭工業大学のキャラクター「ムロびよん」

■編集発行 室蘭工業大学総務広報課
〒050-8585 室蘭市水元町27番1号 電話 0143-46-5014

■印刷所 株式会社日光印刷
電話 0143-47-8308